

# えがお便り

患者様と看護師の笑顔のために・・・



こんにちは。猛暑日が続きますが、お変わりありませんか？ 暑さによる体調の変化だけでなく、冷たい飲み物や食べ物によっても胃腸の変調を来しやすい時期です。どうぞお気をつけください。

さて、今号では、7月に皮膚・排泄ケア認定看護師に合格された松島CN(甲南病院)の紹介と排尿自立指導について、米村CNS(六甲アイランド甲南病院)の看護の語り、秋季に開催する実践能力向上研修のスケジュールをお伝えします。

## 法人で活躍する認定看護師が増えました！



甲南会3人目の皮膚・排泄ケア認定看護師の松島です。私がこの分野を目指したのは、ストーマ保有者が、ストーマを理由にやりたいことを諦めたり自分らしさを失わないよう継続的な支援がしたいと思ったからです。ストーマ外来では、ご自宅や施設から私服で来られる“生活者”の皆さんとお会いできます。こちらから患者さまのライフスタイルに合う装具やケア方法を提案したり、逆に患者さまから日常生活の出来事や装具の使用感を聞かせていただいたりするやり取りは、ストーマケアの奥深さや楽しさがあります。新米ですが、せっかく足を運んでいただくからには毎回ひと笑い以上して帰っていただくことをモットーにしています。ストーマケアに関心はあるけど一歩が踏み出せないという方！ぜひお気軽に話しかけてください！

今回は、ストーマケアのことをお話ししましたが、WOCNの領域は、創傷・褥瘡や排泄ケア・フットケアも含みます。いずれも生活に密着し、ちょっとしたことで観察やケアの質が大きく変わります。それぞれリンク部会やチーム会を作り、取り組んでいますので、興味のある方、是非一緒に活動しませんか？私は甲南病院で、黒い鞆を持って色んな所に出発します。ベッドサイドケアにも是非参加させてください。楽しくケア方法を考えていきましょう。

こんな活動も  
やっています

「排尿自立指導」ってご存知ですか？

「排尿自立指導料」は、尿道カテーテルを留置中で、抜去後に下部尿路機能障害が見込まれる、あるいは実際に障害がある方を対象に、多職種チームの包括的排尿ケアの立案と病棟ケアの実施により算定されます。甲南病院では今年3月から排尿ケアチームを立ち上げ、専任看護師のいる東3階(整形外科)東2階(外科)病棟で排尿自立指導を行っています。チームメンバーは他に外科医師・理学療法士・医事課員と、感染管理認定看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師がいます。

排尿障害は大きく分けて尿排出障害(尿が出せない)と蓄尿障害(尿が貯められない)があります。尿排出障害は尿路感染や腎不全に直結し重要視されますが、蓄尿障害は安易なおむつ装着や尿道カテーテルの長期留置など軽視されるところがあります。しかし、長期間、蓄尿機能を使わなければ機能低下はさらに進行し、失禁・尿路感染リスクが増加します。そして自尊心の低下やADL・QOLの低下へつながります。排尿障害の原因は様々です。その人の排尿障害がどこから起こっているのか、まずは分析が必要です。ケア方法はそれにより変わってきます。

排尿ケアは泌尿器科だけが行うことではありません。患者様の排尿について何か改善できることはないか、今一度、立ち止まって考えてみませんか？対象病棟以外でも、チームへのご相談をお受けしております。



# こころに残る看護場面



専門・認定看護師が、これまでの実践のなかで心に残っている看護場面を紹介します  
今回は、六甲アイランド甲南病院 慢性疾患看護専門看護師の米村さんのこころに残る場面を紹介します。

こころに残る場面はたくさんありますが、厳選して3つ紹介させて下さい。

①約20年前、准看護師として循環器病棟で勤務していたころです。心疾患で認知症のある高齢患者さんがいました。その患者さんは、夜勤の時、訪室すると不在で、ふと窓を見ると非常ドアから外に出ていて「ギャー！」と叫んだこともありましたが、いつもニコニコと穏やかな方でした。ある時、訪室して検温をしていると、患者さんが何か言っていました。しかし、患者さんは気切をしていて声が出ず、私は理解できませんでした。すると、患者さんは私の手を取り手のひらに指で「あ・り・が・と・う」と書いてくれました。まさかそんなことを言われると思ってもいなかったの、驚きとうれしさと涙が出ました。当時の私は知識も経験もなく、何も感謝されるようなことは出来ていませんでした。その時の患者さんの言葉は、その後の看護師として躓いた時の支えになっています。今でも忘れられません。

②私は看護師2年目の時に趣味で乗っていたバイクで事故を起こし、生死をさまよいました。骨折6か所、大腿四頭筋部分断裂、気胸、肺塞栓などで痛みとの戦いでした。眠剤や安定剤を使用し、痛み止めも多量に使用しましたが、辛さから「意識がとべばいいのに・・・」と思う毎日でした。そのような入院中でしたが、ある看護師さんに救われる思いをしました。「米村さん、どう？」とひょっこり顔をだしたので、「〇〇さん、今日この部屋の担当ですか？」と聞くと、「ううん、どうしてるかなってちょっと気になって」ととても自然に言われました。ほんの数秒でしたが、こうして様子を見に来てくれたことが本当にうれしかったです。自分のことを気にしてくれているということがとてもありがたかったです。この経験から、「気にかける」ということが、患者さんにとって、とても安心感や頑張りにつながるということを学びました。このことは、今実践していても常々感じています。

③私はこの事故の入院中に初めて患者になり、これまでの自分の看護を振り返り、何もできていなかったことに気づきました。私がこれまでやってきた看護は、患者さんにとって絶対にいいことだと思い込んで行っていた自分よがりの一方的な看護でした。復帰したら絶対に良い看護師になりたいと思い、できることは何でもやりたいと思いました。でも何をすればいいのかわかり、自分は患者さんの何を知っているのかと感じました。透析室に復帰後、ある気難しい患者さんの担当になりました。最初は恐る恐る挨拶に行き、検査データの説明をしたりしていましたが、何度も続けてデータを持って患者さんのベッドに通ううちに、私の顔を見たらすぐに起き上がり、食事の内容など少しずつ自分の話をしてくれるようになりました。仕事を一生懸命にしていたが、透析をすることになり、自分が育て上げた部署から外されてしまった。あんなに悔しい思いはなかったと、想いを話してくれました。あるとき、他の看護師がその患者さんに薬のことを尋ねると、「僕の話は、米村さんが全部知ってるから」と言っているのを聞きました。その時、「やった！」と感じました。この言葉は、最高の褒め言葉でした。信頼してもらえた実感で感動したのを覚えています。信頼関係を築く楽しさを感じました。一方で、仕事の部署を変えられたことが、どうしてそんなに悔しかったのか、当時の私は十分に理解できませんでした。対象となる患者さんのいる一般社会のシステムが全く分かっていませんでした。そこから慢性疾患をもつ患者さんの看護をもっと学びたいと思い、進学を決意しました。





今年度9月～11月に開催される看護実践能力向上研修は次のとおりです。  
皆様のご参加をお待ちしています。

## 実践能力向上研修Ⅰ

開催日	テーマ	講師	対象者
9/2(日)	事例を通して透析看護を ゆっくり考えよう	慢性疾患看護専門看護師 米村朋代 透析看護認定看護師 永井美裕貴、岡本雅代	看護師 (ラダーレベル Ⅲを目指す方)
9/8 (土)	乳がん患者の看護	乳がん看護認定看護師 瓜生悦子	看護師 (ラダーレベル Ⅱを目指す方)
9/15(土)	感染管理研修 2	感染管理認定看護師 窪田順江、松本悠子	看護師 (ラダーレベル Ⅲを目指す方)
9/29(土)	IllnessとDiseaseを理解し病 とともに生きる患者の支援を 考えよう!	慢性疾患看護専門看護師 米村朋代 透析看護認定看護師 永井美裕貴、岡本雅代 慢性心不全看護認定看護師 吉川憲一郎	看護師 (ラダーレベル Ⅱを目指す方)
10/20(土)	感染管理研修 3	感染管理認定看護師 窪田順江、松本悠子	看護師 (ラダーレベル Ⅳを目指す方)
11/17 (土)	看取りのケア	緩和ケア認定看護師 江川亜希	看護師 (ラダーレベル Ⅱを目指す方)

## 実践能力向上研修Ⅱ

開催日	テーマ	講師	対象者
10/13(土) 11/23(金)	ストーマ管理	皮膚・排泄ケア認定看護師 鈴木愛美、松尾知子、 松島佳子	看護師 (ラダーレベルⅡ ～Ⅲを目指す方)

※実践能力向上研修の開催要項につきましては、看護研修センターより別途案内が配布されます。

